探究の調査設計シート

といのタネ

氏名: _____ 記入日: _____

自分の問い: _____

読んだ本や公的資料の名前: _____

ステップ1 確かめたいことを3つに分ける

ここでは、問いに答えるために確かめる事実を3つ書き、調査方法を選びます。「これが分かると問いのどこに答えられるか」を1文で言えるものを残します。

方法を選ぶ目安は次のとおりです。

- すでに公表されている事実は、本や公的統計で確かめます。
- 何人が、どのくらいを知りたいときは、アンケートを候補にします。
- 理由や経緯を知りたいときは、インタビューを候補にします。
- 現場の様子を知りたいときは、観察やフィールドワークを候補にします。

番号	確かめたいこと	調査方法	問いのどこに答えられるか
記入例	放課後に図書室を使う生徒の割合	アンケート	利用の少なさが本当かを判断できる
1			
2			
3			

ステップ2 アンケートの質問を点検する

ここでは、自分で書いた質問を4つの観点で確かめます。問題がなければ○、直す所があれば×を書きます。AIの指摘を読んだ後、直した文は自分で書きます。

質問案	期間や言葉は明確か	1問1論点か	誘導がないか	選択肢に漏れがないか	直した質問文
記入例 最近、図書室に行きましたか	×	○	○	×	この1か月に図書室へ行った回数を選んでください

配る相手: _____ 配る数: _____

締切: _____

試しに答えてもらった人数: _____ 分かりにくかった質問: _____

結論に書く回答者の範囲: _____

ステップ3 インタビューの準備をする

ここでは、依頼で伝える内容と質問を決めます。氏名はAIに入力せず、相手は記号で書きます。校外の人に頼むときは、先に先生へ進め方を確かめます。

相手の記号と立場(記入例 A・商店の店主): _____

調査の目的: _____ 所要時間: _____ 分

録音の了承: _____ AIで文字起こしする了承: _____ 了承を得た日: _____

発表先: _____ 名前の出し方: _____

順番	質問	相手にしか聞けない質問なら○
記入例	店を続ける中で客層はどう変わりましたか	○
1		
2		
3		
4		
5		

ステップ4 現場の記録をその日に書く

ここでは、フィールドワークや観察の内容を3つに分けて残します。感じたことはAIに書かせず、自分の言葉で書きます。

場所: _____ 日時: _____ 天気や状況: _____

見たこと・数えたこと	聞いたこと	感じたこと
記入例 16時台に入館した人は12人	記入例 テスト前は混むという話	記入例 思ったより席が静かだった

ステップ5 AIの出力を元のデータと照らす

ここでは、AIが整理した内容を録音や回答データで確かめます。照らしていないものは、提出物に使わない欄へ分けます。

AIの出力	照らした元	合っていたか	直した内容
記入例 Aさんは客が減ったと発言	録音12分ごろ	一部違う	平日の客が減った、に修正

結果から言えることを、AIの文を見ずに3行で書きます。

1. _____
2. _____
3. _____

AIを使った記録

ここでは、提出時に示せるように利用の記録を残します。書き方は学校の指定があれば、それに合わせます。

日付	サービス名	使った作業	入力したプロンプトの保存先
記入例 11月18日	[使ったAIの名前]	質問文の点検	探究ノート3ページ